

長野県立歴史館 県民に親しまれる歴史館を目指して ②広報・イベント

広報の現状

情報発信

広報媒体を通じて、企画展等の開催情報を広報しています。

媒 体	内 容
新 聞	有料広告（信毎、朝日、読売、中日、毎日等）、各種事業等の情報を新聞社へ情報提供 信濃毎日新聞「しなの歴史再見」、読売新聞「学芸員のおすすめ」
ホームページ	県立歴史館ホームページ 日本博物館協議会、長野県博物館協議会、千曲市準オフィシャルサイト「まちなびちくま」
報道機関等	報道機関への取材依頼 広告無料掲載のフリーペーパー（ながの情報NEXT等）、市報千曲
チラシ発送	学校・図書館・教育委員会・公民館・県博協加盟博物館美術館、観光協会、観光施設、宿泊施設等
県広報の活用	県広報の活用



県立歴史館ブログ



R6.8.3 県立歴史館 30 周年



笹本特別館長
フェイスブック

取材対応

歴史館の職員が、新聞掲載コラムを担当するほか、テレビ取材に協力。所蔵する史資料、企画展、取組等について情報発信しています。



信濃毎日新聞ホームページ
から引用



R7.1.22NHKホームページ
から引用



R6.8.24 ケーブルテレビ（グーライト）
笹本特別館長と中島千波氏との企画展対談



R6.11.2 NHKホームページから引用



広報の課題

- 中农信地方などでの知名度の低さが指摘されています。
 - 南信地方での出前講座や古文書講座の開設などアウトリーチ活動を強化するよう検討しています。
- 有料の広報媒体の活用については、予算制約があるほか、費用対効果が見えにくいといった課題があります。
 - 有料広告の量は確保しつつ、記事掲載や取材対応に注力していきます。
- 若者向けにSNSを活用した広報
 - X（旧 Twitter）、ブログによる発信にも力を入れていきます。

行事でのイベント

- 歴史館をより知っていただく意味で、広報手段の一つと位置付けています。引き続き職員が知恵を絞ってより楽しいイベントを開催していきます。

日 時	テーマ	内 容	参加者数
5月5日	歴史館でこどもの日	どきmoドキ	140
7月26・27日	考古学チャレンジ教室	縄文人になろう	248
8月3日	歴史館で夏休み	記念品	46
		プラ板マスコットづくり	56
11月3日	開館記念日	クイズラリー、縄文人になろう	集計未実施
11月23日	須坂市民の日関連	長野電鉄沿線図の鳥瞰図・源氏物語図屏風の展示	106
12月1日	縄文風クリスマスリースを作ろう	クリスマスリースづくり	20
1月18日	K O A の日関連	プラ板マスコットづくり	114
		縄文人になろう	60
		特別館長による特別講演「川中島合戦とその後-事実と物語」	63
3月20日	親子映画会	「うばすて山」「芋ほり長者」ほか	186
3月22日		「小太郎と母龍」「オオカミと娘」ほか	87
3月23日		「雷と悪者」「安珍清姫」ほか	133
合計			1,259

意見交換の観点

県立歴史館では、広報媒体を活用した情報発信にとどまらず、歴史館が所有する史資料や取組にかんする取材対応、地域住民向けのイベント開催などを通じて、親しまれる館運営に努めています。現在の取組に加え、どのような取組が考えられるか御意見をいただきたいと思います。